

2023年9月22日

ローム株式会社

設立30周年記念曲と共に日本全国にオーケストラの音楽をお届けする特別企画第3弾！

ROHM MUSIC FOUNDATION 30TH ANNIVERSARY PROJECT Vol.3

仙台フィルハーモニー管弦楽団 プレミアム・コンサート in 仙台

ローム株式会社(本社:京都市)が支援する公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション(京都市)は、財団設立30周年を記念し日本全国でオーケストラのコンサートを開催する「ROHM MUSIC FOUNDATION 30TH ANNIVERSARY PROJECT プレミアム・コンサート」(以下、「本プロジェクト」)の第3弾として、「仙台フィルハーモニー管弦楽団 プレミアム・コンサート in 仙台」を2023年12月24日(日)に開催いたします。

本プロジェクトは、これまで第1弾を京都、第2弾を福岡にて開催し、オーケストラの素晴らしい演奏と共に、ローム ミュージック ファンデーションが過去に音楽家育成事業に関わり、現在国内外で活躍する音楽家「ローム ミュージック フレンズ」によるソロを多くのお客様にお楽しみいただきました。

第3弾として仙台で開催する今回のコンサートは、日本屈指の作曲家である岩代太郎作曲の設立30周年記念作品「東風慈音ノ章」に始まり、モーツァルトの「ヴァイオリン協奏曲 第3番」へと続きます。ソリストは、宮城県出身で現在NHK交響楽団のゲスト・コンサートマスターを務めるローム ミュージック フレンズの郷古廉です。プログラムの最後には、生命力溢れる壮大なベートーヴェンの「交響曲 第7番」を披露し、指揮は同じくローム ミュージック フレンズの垣内悠希でお届けいたします。また、本作品の演奏前には、司会の朝岡聡が楽しく楽曲を解説するプログラムもご用意しております。

ローム ミュージック ファンデーションの30年以上にわたる音楽文化支援活動で得た絆が生み出す豪華プログラムをお楽しみください。

■第3回公演概要



名 称	: ROHM MUSIC FOUNDATION 30 TH ANNIVERSARY PROJECT Vol.3 仙台フィルハーモニー管弦楽団 プレミアム・コンサート in 仙台
日 程	: 2023年12月24日(日)16:00開演(15:15開場)
会 場	: 電力ホール(仙台市)
オンライン	: クラシック専門ストリーミングサービス「カーテンコール」内 「ローム ミュージック チャンネル」にて配信 https://curtaincall.media/rmf
出 演 者	: 指揮者 / 垣内 悠希(ローム ミュージック フレンズ) ヴァイオリン / 郷古 廉(ローム ミュージック フレンズ) 管弦楽 / 仙台フィルハーモニー管弦楽団 司会 / 朝岡 聡
料 金	: S席/4,000円、A席/3,000円 オンライン配信チケット/500円
チケット販売	: 2023年9月22日(金) 河北チケットセンター他にて販売開始
主 催	: 公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション
特別協賛	: ローム株式会社
協 賛	: ラピスセミコンダクタ株式会社

※詳細は添付のチラシをご参照ください。

■コンサート プログラム

- 岩代 太郎 : 東風慈音ノ章 ~ローム ミュージック ファンデーション設立 30 周年記念 委嘱作品~
W.A.モーツァルト : ヴァイオリン協奏曲 第 3 番 ト長調 K.216 (独奏: 郷古 廉)
L.v.ベートーヴェン : 交響曲 第 7 番 イ長調 Op.92

<コンサートのポイント>

- ・本プロジェクトのために委嘱した岩代太郎作曲の作品を演奏。
※世界初演は2023年1月25日 角田鋼亮指揮、京都市交響楽団。本作品の演奏としては本公演で3回目。
- ・ソリストの郷古廉(ローム ミュージック ファンデーション2010~2012年度奨学生)は宮城県出身で現在NHK交響楽団ゲスト・コンサートマスターを務め、いま最も注目されている若手ヴァイオリニストのひとり。指揮者はブザンソン国際指揮者コンクールで優勝し、これまでも数多くのオーケストラと共演している垣内悠希(ローム ミュージック ファンデーション2008~2010年度奨学生)。
- ・司会の朝岡聡による楽曲や楽器解説も含まれており、クラシック愛好家だけではなく幅広い方々にお楽しみいただけるプログラムをご用意。

■ 30周年記念委嘱作品について

①タイトル

<日本語表記>

東風慈音ノ章(こちじおんのしょう) Rohm Music Foundation 30th Anniversary Work

<英語表記>

The Chapter of KOCHI-JION Rohm Music Foundation 30th Anniversary Work

②作曲者 コメント

以前から幾度となく、異国の地で「たった一人の日本人メイン・スタッフとして」映画や映像制作の現場に参画してまいりました。特にアジア圏内の制作現場では、歓迎の視線、そして嫌悪の視線が交差する現場も決して珍しくありません。そんな折、私は関係者の人々に、「慈愛」「敬愛」の念をもって誠意を尽くすことで、結果、多くの友人に恵まれてきました。「敬う」「慈しむ」という心情は、ほぼ誤解なく伝わるものだと自負しています。因みに「愛情」や「礼節」だけではダメなのです。それは、相手が求めているカタチでなければ、伝わらず、受け止めてもらえないことさえあります。夫婦間や恋人同士であっても、「愛情」や「礼節」の掛け違いから喧嘩になることもあるほどですから。改めて言うまでもなく「愛情」や「礼節」が争いや戦争のきっかけになってきたことは、誰もが歴史から学べるところでしょう。

世界の分断が日に日に増し、不穏な空気感が漂っている今、極東に位置する私たち日本が、明日に向かって何を成すべきか、そんな想いを敢えて「祝典曲」に込めたいと思いました。

「音楽」が成就する為には「平和」が必要です。

「音楽」は「心」にしか宿りません。

そんな様々な明日への想いを込めて、「東風慈音ノ章」と名づけさせて戴きます。

作曲者: 岩代太郎<プロフィール>



©Rowland Kirishima

東京藝術大学大学院修了。国内外を問わず数多くの映像作品の音楽を担当。映画「血と骨」「春の雪」「蝉しぐれ」「利休にたずねよ」「Fukushima 50」「キネマの神様」で日本アカデミー賞優秀音楽賞、「闇の子供たち」で毎日映画コンクール音楽賞を受賞。またジョン・ウー監督「レッドクリフ」「The Crossing」「Manhunt」、ボン・ジュノ監督「殺人の追憶」も手掛ける。TVでもNHK連続テレビ小説「あぐり」、大河ドラマ「葵・徳川三代」「義経」なども担当。2018年より、演劇と音楽のあたらしいカタチの舞台「奏劇」を企画し、自らの原案・作曲・演奏で公演を行っている。また自ら主宰してNPO法人「オトブミ集～絆」を立ち上げ、社会貢献活動にも取り組んでいる。

■ライブ配信及びアーカイブ配信について(有料)

クラシック専門ストリーミングサービス「カーテンコール」にてライブ配信いたします。

また、2023年12月25日(月)15:00～12月31日(日)23:59までアーカイブ配信でもご覧いただけます。

■ROHM MUSIC FOUNDATION 30TH ANNIVERSARY PROJECT 特設WEBサイトについて

ローム ミュージック ファンデーションWEBサイト内に特設WEBサイトを設置し、本プロジェクトの概要や各地の公演情報等を随時更新して掲載しています。

<<https://micro.rohm.com/jp/rmf/30th-project/>>

■ローム ミュージック フレンズについて

ローム ミュージック ファンデーションは様々な事業で若い音楽家の育成を図っており、その事業の中で関わった音楽家を「ローム ミュージック フレンズ」(4,865名:2023年9月現在)として、ともに音楽を届ける仲間となつていただいています。

事業名	内容
奨学援助 (1991年度～)	国内外の教育機関で音楽を学ぶ学生への奨学金の支給。 現在までに540名を支援。
音楽在外研究援助 (1993年度～2014年度)	音楽家の一層の研鑽を図るための在外研究を援助。 現在までに64名を支援。
音楽セミナー (1992年度～)	プロの音楽家の育成を目的としたセミナー。これまでに弦楽器クラス、管楽器クラス、指揮者クラスを実施し、現在までに333名が受講。
ローム ミュージック セミナー (2019年度～)	世界で活躍するローム ミュージック フレンズによる音楽家育成セミナー 2019年度からは宮田大・チェロクラスを実施し、現在までに11名が受講。
京都・国際音楽学生フェスティバル (1993年度～)	国際交流と音楽家の育成を目的として、世界を代表する音楽学校から音楽学生を京都に招いて開催するフェスティバル。 現在までに国内外から2,646名が出演。
小澤征爾音楽塾 (2000年度～)	小澤征爾氏の「若い音楽家を育てたい」という熱い思いで始まったオペラやオーケストラの公演を通じて若手音楽家の育成を図る教育プロジェクト。 現在までに1,530名が出演。

※ローム ミュージック フレンズは複数事業に関わった方がいるため、各事業の人数と合計人数は一致しません。

以上

ROHM MUSIC FOUNDATION 30TH ANNIVERSARY PROJECT (Vol.3)

仙台フィルハーモニー管弦楽団 プレミアム・コンサート in 仙台



ローム ミュージック ファンデーション設立30周年記念 委嘱作品
岩代太郎／東風慈音ノ章

W.A. モーツァルト／ヴァイオリン協奏曲 第3番 ト長調 K.216

L.v. ベートーヴェン／交響曲 第7番 イ長調 Op.92



垣内 悠希(指揮)



郷古 廉(ヴァイオリン)



朝岡 聡(司会)

2023.12/24 [日] 電力ホール

16:00 開演(15:15 開場)

〒980-8534 宮城県仙台市青葉区一番町3丁目7-1 電力ビル7階

全席指定 S席:4,000円 A席:3,000円 | 有料配信オンラインコンサートチケット 500円

公演チケットお取り扱い

チケットぴあ <https://t.pia.jp> [Pコード:251-211]

ローソンチケット <https://l-tike.com> [Lコード:22163]

藤崎

河北チケットセンター 022-211-1189 (電話受付のみ。受付:平日10:00~14:00)

オンラインコンサートチケットお取り扱い

カーテンコール <https://curtaincall.media> (購入方法についてはWEBサイトをご覧ください。)

有料配信のお知らせ

クラシック専門ストリーミングサービス カーテンコールにて、当日会場での公演開催と同時にライブ配信および、期間限定のアーカイブ配信も実施します。

アーカイブ配信

2023年12月25日(月)15:00~12月31日(日)23:59

公演内容に関するお問い合わせ:河北アドセンター 080-3869-2128 (受付:平日10:00~17:00)

視聴方法に関するお問い合わせ:カーテンコール <https://curtaincall.media/contact>



配信サイトはこちら

主催:公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション 特別協賛:ローム株式会社 協賛:ラピスセミコンダクタ株式会社

※チケットは全席指定・消費税込です。※未就学児のご入場はご遠慮ください。※都合により出演者、曲目が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

ROHM MUSIC FOUNDATION 30TH ANNIVERSARY PROJECT

公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーションは、京都市に本社を置く半導体・電子部品メーカーであるローム株式会社および創業者の佐藤研一郎(1931年~2020年)が中心となって1991年に設立され、若手音楽家の育成やコンサート支援など音楽文化の普及と発展のためさまざまな活動を行っており、2021年に設立30周年を迎えました。

設立30周年を記念し、この活動をより拡げるために音楽の素晴らしさを伝えるオーケストラのコンサートを全国各地で開催いたします。各地のオーケストラとともに、ローム ミュージック ファンデーションが過去に若手音楽家育成事業に関わり、現在国内外で活躍する音楽家「ローム ミュージック フレンズ」の出演や、設立30周年を記念した委嘱作品の演奏など華やかなプログラムをお届けします。



仙台フィルハーモニー管弦楽団 Sendai Philharmonic Orchestra (管弦楽)

仙台フィルハーモニー管弦楽団は、1973年に「宮城フィルハーモニー管弦楽団」として誕生。1983年4月から芥川也寸志が音楽総監督として現在の礎を築き、外山雄三音楽監督、パスカル・ヴェロ・飯守泰次郎常任指揮者らのもとアンサンブルに磨きをかけてきた。2023年度に高関健が常任指揮者に就任、創立50周年を迎えさらに充実した活動を展開している。2011年3月11日に東北地方を襲った東日本大震災による影響で、数ヶ月にわたり演奏活動を中止せざるを得ない状況となったが、「音楽の力による復興センター・東北」と協力し音楽を被災者のもとに届ける活動を行った。現在、日立システムズホール仙台コンサートホールでの定期演奏会のほか、「仙台国際音楽コンクール」「仙台クラシックフェスティバル(せんくら)」でも広く市民に親しまれ、「杜の都」の音楽文化における中心的役割を担っている。



垣内 悠希 Yuki Kakiuchi (指揮)

ローム ミュージック フレンズ
<2008、2009、2010年度奨学生>

2011年ブザンソン国際指揮者コンクールに優勝して国際的注目を集める。これまで、フランス国立ポルドー＝アキテーヌ管弦楽団、ブリュッセル・フィルハーモニー管弦楽団、ミュンスター交響楽団、サンクトペテルブルク交響楽団、ウィーン室内管弦楽団などを指揮。国内では2012年に東京フィルハーモニー交響楽団定期演奏会を指揮して東京デビュー、「鋭敏な色彩感覚の反映された名演」と評された。その後も全国各地のオーケストラに客演を重ねている。2013年小澤征爾氏の推挙を受けて小澤征爾音楽塾オーケストラを指揮、好評を博した。2023年春のローム ミュージック フェスティバル「セビリヤの理髪師」×「フィガロの結婚」(ハイライト)での名演も記憶に新しい。東京生まれ。6歳よりピアノを、14歳より指揮を学ぶ。東京藝術大学、ウィーン国立音楽大学卒業。小澤征爾、佐藤功太郎、レオポルト・ハーガー、ヨルマ・パヌラ、ジャンルイジ・ジェルメッティ、エルヴィン・アツェル、イザーク・カラブチエフスキー、湯浅勇治の各氏に師事。2016年より3年間札幌交響楽団指揮者を務めた。



郷古 廉 Sunao Goko (ヴァイオリン)

ローム ミュージック フレンズ
<2010、2011、2012年度奨学生>

2013年8月ティボール・ヴァルガシオン国際ヴァイオリン・コンクール優勝並びに聴衆賞・現代曲賞を受賞。現在、国内外で最も注目されている若手ヴァイオリニストのひとり。1993年生まれ。宮城県多賀城市出身。2007年12月のデビュー以来、各地のオーケストラと共演。共演指揮者にはゲルハルト・ボッセ、フランソワ・グザヴィエ・ロト、井上道義、川瀬賢太郎各氏などがある。2017年より3年かけてベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ全曲を演奏するシリーズにも取り組んだ。これまでに勅使河原真実、ゲルハルト・ボッセ、辰巳明子、パヴェル・ヴェルニコフの各氏に師事。ジャン・ジャック・カントロフ、アナ・チュマチェンコの各氏のマスタークラスを受ける。使用楽器は1682年製アントニオ・ストラディヴァリ(Banat)。個人の所有者の厚意により貸与される。2019年第29回出光音楽賞受賞。NHK交響楽団ゲスト・アシスタント・コンサートマスターを経て、2023年4月よりNHK交響楽団ゲスト・コンサートマスターに就任。



朝岡 聡 Satoshi Asaoka (司会)

横浜市生まれ。慶應義塾大学卒業。テレビ朝日にアナウンサーとして入社し、各種スポーツ中継の他「ニュースステーション」初代スポーツキャスターとして活躍。1995年フリーとなってからはテレビ・ラジオ・CMの他、クラシックコンサートの企画構成や司会でもコンサート・ソムリエとして活動のフィールドを広げている。とくにオペラと古楽ではユニークな評論が注目を集めており、クラシックの語り部としても幅広く活動中。興味深い内容を軽妙な語り口で展開する独自の世界は、新しい芸術ファンのすそ野を広げる司会者として注目と信頼を集めている。日本ロッシーニ協会副会長。公益財団法人 日本音楽教育文化振興会理事。東京藝術大学客員教授。



岩代 太郎 Taro Iwashiro (作曲)

東京藝術大学大学院修了。国内外を問わず数多くの映像作品の音楽を担当。映画「血と骨」「春の雪」「蝉しぐれ」「利休にたずねよ」「Fukushima 50」「キネマの神様」で日本アカデミー賞優秀音楽賞、「闇の子供たち」で毎日映画コンクール音楽賞を受賞。またジョン・ウー監督「レッドクリフ」「The Crossing」「Manhunt」、ボン・ジュノ監督「殺人の追憶」も手掛ける。TVでもNHK連続テレビ小説「あぐり」、大河ドラマ「葵・徳川三代」「義経」なども担当。2018年より、演劇と音楽のあたらしいカタチの舞台「奏劇」を企画し、自らの原案・作曲・演奏で公演を行っている。また自ら主宰してNPO法人「オトブミ集〜絆」を立ち上げ、社会貢献活動にも取り組んでいる。

ラピスセミコンダクタ株式会社

ラピスセミコンダクタ株式会社は、2008年に京都に本社を置く半導体・電子部品メーカー、ロームグループの一員となり、徹底したものづくりへのこだわりを持って、世界中のお客様に品質と信頼性に優れた半導体を提供しています。宮城県と宮崎県に工場を有し、宮城県大衡村にある宮城工場では、1988年の操業開始から様々なIC(大規模集積回路)を生産してきました。現在は東日本大震災の経験を活かして災害に強い生産体制を整えており、ロームグループの主力工場の1つとして、ステークホルダーの皆様の期待に応え、安心して暮らせる社会の実現に取り組むとともに、ロームグループ環境ビジョン2050に基づき社会の持続的成長に寄与する企業活動を推進しています。これからも、ロームグループが掲げる企業目的の通り、良い商品を国の内外へ永続かつ大量に供給し、文化の進歩向上に貢献してまいります。

